

災害誘因・即時予測部会研究集会プログラム

開催日時：2020年11月27日(金) 10:00-17:10

開催形式：オンライン (zoom)

時間	課題番号	課題名	発表者 (敬称略)
10:00-10:05		趣旨説明	太田雄策
10:05-10:20	DPRI08	広帯域強震動予測の高度化に関する研究	関口春子
10:20-10:35	DPRI09	断層破壊過程と極大強震動生成に関する研究	岩田知孝
10:35-10:50	NGY_05	地表地震断層の特性を重視した断層近傍の強震動ハザード評価	鈴木康弘
10:50-11:05	TTR_01	地方自治体の地震被害想定，災害リスク評価を高度化するための基盤整備	香川敬生
11:05-11:20	HRS_02	データ同化に基づく津波現況把握と即時予測の高度化	前田拓人
11:20-11:35	ERI_14	広帯域強震動災害の事前・即時予測	古村孝志
11:35-11:50	HKD_05	巨大地震に伴う海底斜面崩壊による津波の事前評価・即時予測に関する研究	谷岡勇市郎
11:50-12:05	HKD_09	千島海溝沿いの巨大地震津波災害軽減に向けた総合研究	高橋浩晃
12:05-13:30		休憩	
13:30-13:50	CTOC01他	拠点間連携および災害誘因評価・即時予測部会の連携	松島信一
13:50-14:05	III_01	ニーズ・アセスメントに基づく地震・火山災害に関する発生確率、被害想定、災害情報のコミュニケーション戦略の開発	関谷直也
14:05-14:20	IRID04	地震の事前情報を起点とするハザード事象系統樹の開発	福島 洋
14:20-14:35	HKD_06	火山活動即時解析表示システムの開発	橋本武志
14:35-14:55		「災害情報」課題および拠点間連携との連携に関する総合討論	
14:55-15:05		休憩	
15:05-15:20	ERI_16	堆積平野・堆積盆地における地震災害発生機構の解明	三宅弘恵
15:20-15:35	JMA_06	地震動・津波即時予測の高度化に関する研究	山本剛靖
15:35-15:50	THK_12	海陸測地データを活用したプレート境界面すべり即時把握能力の向上とそれにもとづく津波即時推定手法の高度化	太田雄策
15:50-16:05	DPRI11	火砕流の発生と流下予測	為栗 健
16:05-16:20	DPRI12	噴火後の土石流および泥流の発生に関する観測と予測手法の開発	藤田正治
16:20-16:35	DPRI10	火山地域を含む地震地すべり発生場の評価と斜面における強震動及び不安定化の事前予測手法の展開	釜井俊孝
16:35-16:50	IRID03	地表設置型合成開口レーダ(GB-SAR)による地表面変位計測の高精度化	佐藤源之
16:50-17:10		総合討論 (3年目・5年目の到達点含む)	
資料提出のみ	JMA_07	火山噴出物の監視技術とデータ同化に基づく輸送予測に関する研究	新堀敏基
	HRO02	津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開	川上源太郎